

中国・大連でシステム開発の現地法人を設立  
－ 国内損害保険会社では初の中国システム開発拠点 －

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長：佐藤正敏）のグループ会社である株式会社損保ジャパン・システムソリューション（以下「SJS」、社長：横山政道）は、2008年11月に設置した中国・大連のシステム開発拠点（以下、「現地拠点」）において、システム開発を行う現地法人子会社（損保ジャパン・システムソリューション大連（以下「SJSD」、社長：横山政道）を新たに設立し、本日から営業を開始します。（2010年2月1日に大連市工商行政管理局から営業許可を取得）

SJSでは従来、現地拠点において現地のシステム開発会社（以下、「中国ベンダ」への開発委託を行ってききましたが、SJSDの設立によって自社グループによる現地システム開発業務を拡大し、NKSJグループのシステム開発力強化とシステムコストの削減・抑制にさらに大きく貢献することを目指します。

## 1. SJSD設立の狙い

中国・大連において、SJSDの現地要員を中心としたシステム開発チームを組成し、SJSDが自らシステム開発を行うとともに、従来SJSが国内のシステム開発会社を介して行ってきた中国ベンダへの委託業務を現地で直接管理する態勢とします。また、これらにより、システム関連の機能を次のとおり、拡充することを目指します。

- ・ 保険業務に精通した中国人のシステム技術要員を自前で採用・育成することにより、技術やノウハウをグループ内で保有しつつ、NKSJグループのシステム開発力拡大に貢献
- ・ 現地での業務管理体制強化によって、品質やセキュリティの水準を落とさずに現地でのシステム開発の規模拡大を可能とし、NKSJグループへ日本国内同等水準のシステムサービスを低価格で提供

なお、SJSDには株式会社日立製作所（以下「日立製作所」、会長兼社長：川村 隆）も出資します。中国におけるシステム開発事業に関して日立製作所が持つ人材・品質管理等のノウハウを導入し、システムの設計からテストに至る全工程を中国で実施する「中国完結型開発」モデルの実現を目指します。

## 2. 中国現地法人の概要

名称：日本財産保険系統（大連）有限公司  
（日本名：損保ジャパン・システムソリューション大連）  
（英名：Sompo Japan System Solutions (Dalian) Co.,Ltd.）  
資本金：1億円（SJS：7,000万円、日立製作所：3,000万円）  
社長：横山 政道

所在地 : 中華人民共和国遼寧省大連市高新園区五一路267号  
大連軟件園17号棟302A  
経営範囲 : NKSJグループからの受注を主とし、以下の業務を行う。  
①ソフトウェアの開発及び販売  
②情報処理業務の受託  
③その他、上記に付随する一切の事業  
従業員数(設立当初) : 20名 ※現地協力会社(中国ベンダ)要員110名  
営業開始 : 2010年3月

【ご参考】

◆株式会社損保ジャパン・システムソリューション の概要

所在地 : 東京都立川市曙町2-41-19 損保ジャパン立川ビル  
設立年月 : 1984年4月  
資本金 : 7,000万円  
従業員数 : 596名(2009年4月現在)  
業務内容 : ソフトウェアの開発・保守・販売業務

以 上